

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 4 日 (18:15 ~ 20:00)
------------------	-----	-----------------------------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	小福田、三崎、近藤、渡邊、藤田、井上、山田さ、前橋、赤松、松本、前原、和田、山田あ、東条、津嶋
--------------------	------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	7 人	0 人	0 人	15 人

前回の改善計画	・初回利用時の様子について、『食事』『入浴』『排泄』等それぞれ関わった職員が、その時の様子について申し送りを行い、細かい情報についても職員間で共有をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・気付きに対してその都度申し送りはできていると思うが、後から気づいたことを共有できていないこともある。(情報共有が不十分なことがある。) ・新規利用者について、日常生活動作(食事や排泄など)については細かく申し送りされているが、趣味などの余暇活動についての申し送りが少ないように思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7 人	8 人	0 人	0 人	15 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	7 人	7 人	1 人	0 人	15 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	6 人	8 人	0 人	1 人	15 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6 人	7 人	1 人	1 人	15 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・新規利用者に対して、各職員が事前に基本情報の読み込みを行い情報収集に努めた。 ・初回利用時の対応について、ご本人の表情の確認をしながら、ご利用者が不安にならないよう細かい声かけや気配り目配りをしながら対応にあたった。また、当日の様子については申し送りノートの活用や口頭での情報共有を行った。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・夕礼ノートを確認し、新規利用者について理解した感覚になっていても、実際にケアする際にどうだったかなと思うことがある。 ・同じ職員が毎回関わるわけではないので、一人ひとりの信頼関係がまだ築けていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
新規利用者の初回利用時の様子について、申し送りノートに『食事』『排泄』『入浴』等、必要な支援を項目ごとに記入し、当日出勤していない職員も状態把握ができるようにする。 また、関わる職員が同じ人ばかりにならないよう、各職員が意識しながら積極的に関わりを持つようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 4 日 (18:15 ~ 20:00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	小福田、三崎、近藤、渡邊、藤田、井上、山田さ、前橋、赤松、松本、前原、和田、山田あ、東条、津嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	5 人	7 人	0 人	15 人

前回の改善計画	コミュニケーションの中からご利用者の「～したい」に結び付くような行動や言葉を見つけていき、個別支援(ケアプラン)や行事に取り入れていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者全員ではないが、『～したい』の声を聞きとり個別支援に取り入れたケースもあった。(地域活動の参加、園外への外出など)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1 人	8 人	6 人	0 人	15 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1 人	8 人	6 人	0 人	15 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0 人	9 人	6 人	0 人	15 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0 人	9 人	5 人	1 人	15 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・コロナ禍でなかなか出来ずにいた行事(外食行事)なども、感染対策や感染状況をみながらではあるが少しずつ実現できた。 ・コミュニケーションの中で以前の生活を知り、好きなことや嫌いなことなどの情報をえるように心がけている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の興味があったことを知っても、業務と重なると伝え忘れてしまい、それだけで終わってしまっている。また、その時にすぐに実現できる『～したい』事については、可能な限り職員間で連携をとりながら実現に向けて取り組んでいるが、すぐに対応できないことについては、『また、いつか…』とそのままだになっていることが多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
日常的な支援や関わりの中からご利用者の『したい事』を発見した際には、その都度夕礼ノートに記入する。また、その発見を行事の月担当職員を中心に個別支援へと繋げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 4 日 (18:15 ~ 20:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	小福田、三崎、近藤、渡邊、藤田、井上、山田さ、前橋、赤松、松本、前原、和田、山田あ、東条、津嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	11 人	2 人	0 人	15 人

前回の改善計画	- ご家族ともしっかり連携をとる事で、職員が知る事が出来ない事業所外での様子や精神面等についての把握に努める。 - 日々の関わりの中でご利用者それぞれの生活スタイルを理解し、『出来る事』『出来ている事』を生かした支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	家族とのコミュニケーションや連携について、送迎などで家族と会う機会があれば話はするが、ゆっくりと現状を聞き取るまではなかなか出来ていない。また、家族とのコミュニケーションの取り方について、自然と会話の中から現状を聞き出す職員もいるが、個人差があるよう思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0 人	7 人	6 人	2 人	15 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	9 人	6 人	0 人	0 人	15 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0 人	11 人	3 人	1 人	15 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	8 人	7 人	0 人	0 人	15 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	5 人	10 人	0 人	0 人	15 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- ご本人の日常の様子について理解し、状況に応じた支援をケアマネ、看護師、介護士で連携をとりながら対応している。 - ご本人の変化に気づけるよう、毎日の申し送りや月1回の会議を通じて職員同士で情報共有し意見交換を行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご家族にも個々の生活スタイルがあり、なかなか連絡が取り合えない家族もいる。その為、自宅での様子が伺えなかったり、連携がとりにくいこともある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
- ご家族とのコミュニケーションがとりやすい送迎時を利用し、自宅での様子やご家族の心境などの確認をしていく。 - なかなか会う機会のないご家族には、電話やメール、連絡帳などを活用し連携を深め、より良い支援に繋げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 4 日 (18:15 ~ 20:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	小福田、三崎、近藤、渡邊、藤田、井上、山田さ、前橋、赤松、松本、前原、和田、山田あ、東条、津嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	5 人	7 人	2 人	15 人

前回の改善計画	・かたらいを利用している事を周囲の方に知っていただく為に、繋がりのある方に対してかたらいカードを配布する。事業所を知っていただく事で連携が取りやすい体制作りを目指す。 ・地域資源の重要性を職員が把握し、情報収集や活用に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ご本人の町内での関係性を知り、必要に応じて挨拶させていただき連絡先をきかせていただいた。 ・事業所だけでは支援できない面について、地域の方にカバーしていただいたこともあり、地域の方の重要性の再認識を行えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1 人	9 人	4 人	1 人	15 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2 人	8 人	4 人	1 人	15 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0 人	8 人	6 人	1 人	15 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	2 人	5 人	7 人	1 人	15 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご本人に町内活動の意義について理解していただき、町内活動に参加できるように支援を行うことが出来た。 ・町内の方としっかり連携を取り、ご本人様の状態について理解していただいたうえでいろいろな支援のご協力を頂くことが出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ケアハウスで生活しているご利用者については、地域活動の場をなかなか得ることが出来ずにいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域の行事に積極的に参加することで、地域資源について情報収集し活用に繋げていく。 ・引き続き、地域の方にかたらいを利用していることを知っていただくために、かたらいカードの配布や挨拶、声かけに努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 4 日 (18:15 ~ 20:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	小福田、三崎、近藤、渡邊、藤田、井上、山田さ、前橋、赤松、松本、前原、和田、山田あ、東条、津嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	10 人	1 人	0 人	15 人

前回の改善計画	各職員がご利用者一人ずつの現状を正確に理解し、日頃から小さな変化に気付けるような視点を持つ。また、緊急時やイレギュラーな状況に対して臨機応変な対応ができるよう、研修を受けたり他職員の対応を確認する等して学んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・申し送りノートなどを活用し、ご利用者一人ずつの現状を正確に理解し、小さな変化にも気づいて対応することが出来ている。 ・緊急時やイレギュラーな状況については、事業所内の研修などに参加しているものの、気が焦り、的確な判断や対応が難しい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0 人	12 人	2 人	1 人	15 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	9 人	6 人	0 人	0 人	15 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	9 人	6 人	0 人	0 人	15 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	8 人	7 人	0 人	0 人	15 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者一人ずつの現状を理解し、日々の小さな変化にも気づくことが出来ている。 ・ご本人やご家族からの要望に耳を傾け、臨機応変に支援を行うことが出きている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業者内研修などに参加し、緊急時の対応などについても学ぶ機会はあったが、実際にその場に立つと気が焦りなかなか的確な判断を行うことは難しかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
研修に参加できなかった職員も内容の把握が出来るよう、会議などの機会を利用して資料の共有や伝達を行っていく。 また、事業所内研修だけでなく、DVD や YouTube を活用していくことで個々のスキルアップに繋げ、イレギュラーな状況への的確な対応ができるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 4 日 (18:15 ~ 20:00)
6. 連携・協働	メンバー	小福田、三崎、近藤、渡邊、藤田、井上、山田さ、前橋、赤松、松本、前原、和田、山田あ、東条、津嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	6 人	8 人	1 人	15 人

前回の改善計画	・参加可能な地域活動を見つけ、どう支援したら地域活動へ参加できるか、会議や夕礼等を通じて話し合い参加に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業所近隣に住む職員から地域活動の情報を教えてもらい、参加してみたい活動についてご利用者に決めていただいた。また、参加するために、事業所職員が参加申し込みを行ったり送迎などの対応を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1 人	8 人	1 人	5 人	15 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1 人	5 人	4 人	5 人	15 人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1 人	1 人	5 人	8 人	15 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0 人	2 人	8 人	5 人	15 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
知り得た地域活動についてご利用様と話し合いながら、参加の希望があれば一緒に参加できるように調整し参加することが出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ご本人様の状態の変化（住居の変更等）が著しかったため、今まで参加していた公民館活動への参加が難しくなったケースもあった。 ・地域活動について、ご本人と地域の関係性があまりなかったり、事業所としても地域の方との関わりが少ない地域もあった為、情報収集自体が困難で活動に参加できない地区もあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域推進会議での情報や回覧板、地域の掲示版などをもとに、参加可能な活動を見つけていく。また、現在参加できている地域活動を継続していけるよう、必要に応じた支援(送迎対応や参加に同行するなど)を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 4 日 (18:15 ~ 20:00)
7. 運営	メンバー	小福田、三崎、近藤、渡邊、藤田、井上、山田さ、前橋、赤松、松本、前原、和田、山田あ、東条、津嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	11 人	1 人	2 人	15 人

前回の改善計画	・今年もアンケートを実施し、ご利用者やご家族からの意見を職員間で共有していく。 ・地域推進委員会など地域から出た意見を会議で議案として挙げ検討していくことで、地域に必要とされる事業所を目指す。 ・新規の問い合わせや相談のご連絡に対して、事業所内の他部署とも連携を図りながらご利用者の状態に合わせた支援が選択できるように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・アンケートや地域推進委員会などから出た意見を職員間で共有するように会議などで紹介はあったが、どうしたらよいかについての主体的な話し合いは持つことが出来なかった。 ・新規の問い合わせや相談のご連絡については、事業所内の他部署との連携を図り、ご利用者の状態に合わせた支援が出来るように努めることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1 人	6 人	4 人	4 人	15 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3 人	8 人	2 人	2 人	15 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2 人	8 人	3 人	2 人	15 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	1 人	7 人	5 人	2 人	15 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・アンケートを行い、利用者や家族からの意見を情報として知ることが出来た。 ・苦情が発生した場合は、即座にご利用者のご家族の気持ちを傾聴し、何が問題だったかを検討し解決に向けて動いた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ご利用者や家族・地域の方の意見を得ても、主体的にどうしたらよいかについて話し合いの場を持つことが出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ご家族や地域の方からの意見が聞かれた場合は、速やかに情報共有し業務に生かす。 ・アンケートを実施する。また、実施したアンケート結果を職員間で共有し、地域に必要とされる開かれた事業所となるよう努力する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 4 日 (18:15 ~ 20:00)
------------------	-----	-----------------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	小福田、三崎、近藤、渡邊、藤田、井上、山田さ、前橋、赤松、松本、前原、和田、山田あ、東条、津嶋
-----------------	------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	9 人	5 人	1 人	1 5 人

前回の改善計画	・小規模連絡会の研修に参加しフィードバックする事で職員全体の知識の向上につなげていく。また他事業所の方との交流(情報交換)の機会にしてい ・ヒヤリハット、問題改善がでた場合、当日の夕礼や会議で議題に挙げて対応方法などを検討する。また、夕礼に参加出来ていない職員も夕礼ノートに意見を上げていくようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・小規模連絡会の研修にはテーマによって希望する職員が順番に参加した。また、研修参加時には他事業所との方と交流をもち、色々な相談をしたり情報交換を行うことができた。 ・ヒヤリハット、問題改善について夕礼や会議で振り返りを行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3 人	3 人	6 人	3 人	1 5 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0 人	2 人	5 人	8 人	1 5 人
③	地域連絡会に参加していますか	1 人	2 人	4 人	8 人	1 5 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4 人	8 人	1 人	2 人	1 5 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・小規模連絡会の研修に参加し、他事業所との交流を図り、視点の違う良いところを部署会議で紹介し取り入れることが出来た。（食事の際に音楽を流す、地域との連携の取り方など） ・問題改善についてはその日のうちに検証できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ヒヤリハットについてマイナスなイメージがいまだにあり、あまり細やかに上げることが出来ていない。 ・問題改善についてはその日の夕礼などで話し合った内容のみの検証にとどまっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ヒヤリハットを細かく挙げていき、重大な事故に繋がらないよう努める。 ・問題改善とヒヤリハットが上がった際にはその日のうちに夕礼にて検証する。また、当日の夕礼に参加できない職員も意見が出し合えるよう、夕礼ノートをしっかりと活用していく。（意見をしっかり書き込んでいく。）	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	13 人	1 人	0 人	15 人

前回の改善計画	・職員間の口頭での情報共有の際、個人情報が含まれていることもあるので、話をする場所や声の大きさに配慮する。 ・利用者の立場に立った行動を行うようにする。 ・支援するにあたり、他職員の気になった言葉がけや行動を見つけた際には、その都度職員間で声をかけあい自分を振り返るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・言葉使いについて、配慮が欠けた言葉使いになっていることがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10 人	5 人	0 人	0 人	15 人
②	虐待は行われていない	12 人	3 人	0 人	0 人	15 人
③	プライバシーが守られている	1 人	14 人	0 人	0 人	15 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	11 人	3 人	0 人	1 人	15 人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3 人	12 人	0 人	0 人	15 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者の状態や状況について口頭で情報共有する際は、話をする場所や声の大きさなどに配慮し、声が大きくなっているときにはお互いに注意しあうようにしている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご利用者との関係性が築けている反面、言葉使いが崩れてしまっていることもある。また、そう言った場面において職員同士での声掛けが不十分になることもある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ・人権プライバシーについて、個々の意識を上げることも大切ではあるが、部署全体で職員同士が声を掛け合える環境を作る。 ・日々の業務においても馴れ合いにならないよう意識し、ご利用者のことも自分の事と思い行動する。
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 幸輝会	代表者	国富 隆夫	法人・事業所の特徴	・「ご利用者の『声』」を形に出来る統一したチームケアを目指そう」を事業目標とし、ご利用者がいつまでも住み慣れた地域で暮らしていけるよう、一人ひとりに合わせて「通い」「訪問」「宿泊」といった各サービスを検討するように心掛けています。生活や暮らし全体を通して『困っていることは何か?』『生活を成り立たせる為に必要なことは何か?』を見極め、柔軟なサービス提供を行っています。
事業所名	かたらい (小規模多機能型居宅介護)	管理者	岡田 真		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	1 人	7 人	0 人	0 人	1 人	0 人	2 人	人	11 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・ご利用者へのアンケートと事業所自己評価を実施することで自己の振り返りを行い、業務改善に繋げていく。また職員の資質向上に努める。	・アンケートを実施したが、振り返りが不十分で、業務に生かすことが出来ていない部分があった。	・事業所自己評価において「できていない」の意見が多いのが気になる。日常業務に追われ忙しいとは思いますが、本人との会話の中で気づくことが多くあるのではないかと、また会話の機会を多くしてみてもと思う。	・事業所自己評価で話し合った目標が達成できるよう、個々が設定された目標を定期的に確認しながら行動に移していく。 ・アンケートを実施し、事業所の質の向上に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	・引き続き事業所の設備に不具合がないか定期的に点検や修繕をし、過ごしやすい生活空間を作る。	・修繕箇所が見つければ随時対応してきた。また、ご利用者からの意見を元に、季節の壁画と一緒に作成し飾ったり、過ごしやすいよう席の配置を考慮し居心地の良い空間作りを心掛けた。	・明るいフロアで清潔感は感じられた。ただ、もう少し広ければ良いと感じた。 ・住宅の中にある施設なので、音や臭い等には配慮されているのだろうと思う。	・季節感の感じられる空間になるよう、フロアをご利用者と一緒に飾り付けをおこなったり、ご利用者にとって温かみのある居心地の良い空間を作っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・送迎時や訪問時に地域の方と出会うことがあれば挨拶を行い、ご利用者が当事業所を利用していることを知っていただく。 ・必要に応じて『かたらいカード』を手渡し、ご利用者だけでなく地域の方でも気軽に事業所へ連絡出来るようにしていく。	・ご近所の方から、ご利用者についての心配事や相談などを受けることもあり、事業所だけでなく地域の方と一緒にご利用者の支援を行うことが出来ている方もいる。ただ、未だに地域の方との関りについては個人差がある。	・今年度は小学生の訪問があり、ご利用者も喜ばれたと聞いている。 ・感染症が落ち着いている次期であれば、地域高齢者の訪問やボランティアを自由にしていけば良いのではないかとと思う。	・感染対策をとりながらではあるが、閉鎖的な事業所にならないよう、地域のボランティアの受け入れや子供たちとの交流を継続的に出来るようにしていく。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	・参加可能な地域行事を回覧板や地域の掲示等を確認しながら把握し、参加に向けて送迎を行ったり、必要ならば一緒に参加していく。	・全員ではないが、職員と一緒に地域の活動(体操教室や岡山市オレンジクロスプロジェクト等)に参加できた。	・地域のイベントや行事に参加できるよう取り組まれていると思う。 ・地域資源の把握は難しいと思うが、安全に自分らしく参加することが出来れば有難いと思う。	・送迎時や訪問時を利用し、地域資源の把握に努める。また参加できる活動をみつけ、同行や送迎対応を行っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・事業所の活動状況や実績の報告に加え、委員の皆様の意見交換ができる会議を運営していく。また、地域の方が興味のもてるテーマを検討し、実施に繋げていく。	・定期的な会議の開催が出来ており、地域の方の意見を聞くことが出来た。また、地域の方ら意見が出た場合は、月1回の部署会議で報告し共有するようにした。	・プライバシーの問題もあり難しいかもしれないが、推進会議の際に利用者の様子を写真で見ることが出来ればと思う。	・かたらいの様子を地域の方にも把握していただけるよう、定期的に現状報告を行っていく。また、地域の方が興味のもてるテーマを検討し、実施に繋げていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	・BCP の読み込みを行い、マニュアルに沿って各自が行動できるようにしておく。また訓練や研修にも参加していく。	・事業所内の研修を通してマニュアルの読み込みを行い、災害時や感染時の対応の再確認を行った。また、地域推進会議でも地域の避難場所としての役割(備蓄や避難場所等)の説明を行った。	・災害時の避難場所として、地域住民としてはとても頼りにしている。その為、地域住民と一緒に行う防災訓練を開催してもらいたい。	・地域の方と一緒に防災について考える機会を持ち、災害時の避難場所としての役割を職員も一緒に再確認していく。